

アーツ前橋 開館 10 周年記念展

ニューホライズン 歴史から未来へ

2023 年 10 月 14 日 [土] → 2024 年 2 月 12 日 [月・祝]

アーツ前橋、白井屋ホテル、まえばしギャラリー、HOWZE ビル、スズラン前橋店 他



レフィーク・アナドール 《Living Paintings Immersive Editions: Artificial Realities: Winds of LA / Pacific Ocean / California Landscapes.》

撮影：Joshua White Courtesy Jeffrey Deitch, New York and Los Angeles.

変容する都市とアートをめぐる、ミュージアムの新たな挑戦。

群馬県前橋市の公立美術館アーツ前橋は、前橋市中心市街地の商業施設を改修した美術館として 2013 年 10 月にオープンし、今年で 10 周年を迎えます。開館以来、市民とアーティストによる文化芸術活動の拠点として、多くの展覧会と地域アートプロジェクトを実施してきました。また街の中心部に立地していることから、アートによる賑わいの創出や、空洞化が進む中心市街地の活性化も期待されてきました。本展「ニューホライズン 歴史から未来へ」は、これまで市民と共に歩んできたアーツ前橋の文化芸術活動を土台に、街とミュージアムの“次の 10 年”に向けた新たな協働をひらくプログラムです。アーツ前橋をメイン会場に、再開発が進む周辺の施設やコミュニティと連携して、空きビルやテナントを活用したイマーシブなデジタルアートや演劇公演、歴史建築の魅力を引き出すプロジェクトマップ、子どもたちとアーティストによる野外彫刻の共同制作など、多彩なアート活動を展開いたします。

●展覧会に関するお問い合わせ New Horizon 展実行委員会事務局（アーツ前橋）
学芸担当 高橋/庭山
●取材・掲載に関するお問い合わせ TEL:027-230-1144
PR担当 酒井/石井 E-mail: artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

●広報画像はこちらより
ダウンロードください



[参加作家と会場 - アーツ前橋]

「鑑賞」から「体験」へ。現代アートの巨匠と新鋭が共演。

本展のメイン会場となるアーツ前橋では、6つのギャラリーをゆったり使い17組のアーティストの作品を展示。人工知能による空間デザインで世界的な注目を集めるレフィーク・アナドルなど現代アートの開拓者たちに加え、本展では日本のアートシーンで台頭する若手ペインターたちに注目。古典的な「絵画」領域を拡張するエネルギッシュな筆致が、鮮烈な絵画体験をもたらします。

アーティスト=井田幸昌、岡田菜美、オラファー・エリアソン、川内理香子、五木田智央、蔡國強、ザドック・ベン=デイヴィッド、ジェームズ・タレル、スプツニ子！、武田鉄平、袴田京太郎、ビル・ヴィオラ、松山智一、山口歴、横山奈美、403architecture [dajiba]、レフィーク・アナドル



レフィーク・アナドル

《Living Paintings Immersive Editions: Artificial Realities: Winds of LA / Pacific Ocean / California Landscapes.》

撮影：Joshua White Courtesy Jeffrey Deitch, New York and Los Angeles.



山口歴《MÖBIUS NO.17》 撮影：浦野航気 ©2021 MEGURU YAMAGUCHI, GOLD WOOD ART WORKS



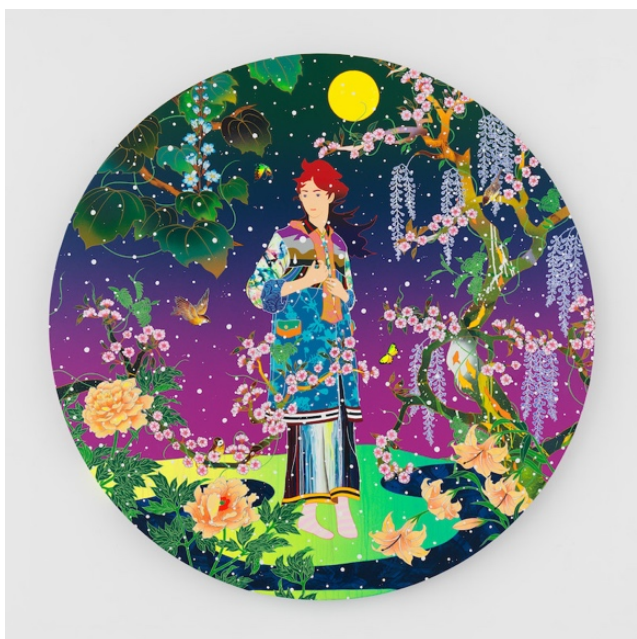
スプツニ子！《Tranceflore》 撮影：So Morimoto



横山奈美《Shape of Your Words -W.K.-》 撮影：若林勇人



ザドック・ベン=デイヴィッド《People I Saw But Never Met》



松山智一《Turn Up Remember》 ※参考作品



武田鉄平《絵画のための絵画 044》

[参加作家と会場 - 前橋市中心市街地]

感性と創造力が「めぶく。」 周辺の新建築群も必見のアート。

アーツ前橋の周辺では、前橋のまちづくりビジョン「めぶく。」に基づき、「白井屋ホテル」や「まえばしギャラリー」など、新進気鋭の建築家による施設のオープンが続いており、本展会期中もいくつかの建築が完成予定となっています。本展では彼・彼女らスター・アーキテクトによる建築表現にも着目し、アートを身近に感じさせてくれるその空間の魅力を、街歩きツアーや各施設との連携展示で紹介していきます。



《白井屋ホテル》藤本壮介建築設計事務所 撮影：木暮伸也



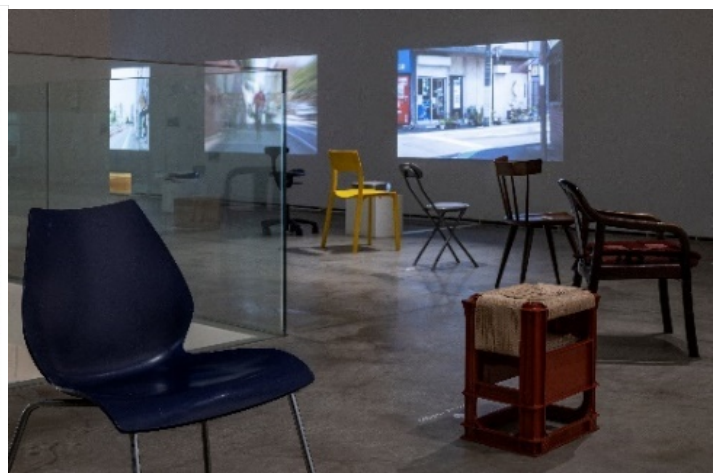
《まえばしギャラリー》平田晃久建築設計事務所 撮影：木暮伸也



岡本太郎《太陽の鐘》 設置場所のランドスケープデザインは藤本壮介建築設計事務所



永山祐子建築設計《マチナカテラス（前橋デザインプロジェクト）》



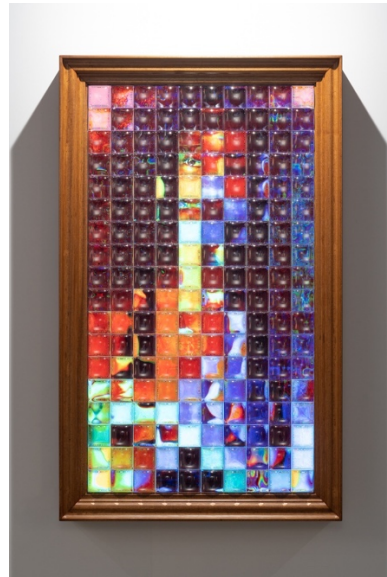
「403architecture [dajiba] / 椅子の場所は決めることができる」展示風景
撮影：木暮伸也

新旧の建築と暮らしが交差する再開発エリアに多彩なアートを設置。
作品をめぐりながら変容する都市と最先端のアートを体感する。

見どころ | スター・アーキテクトの建築というだけでなく、良質なアートに触れられるスポットとしても注目を集める「白井屋ホテル」と「まえばしギャラリー」。ともに本展開催にあわせた展示作品が追加・公開されます。



蜷川実花 《残照/Eternity in a Moment》 ©mika ninagawa



WOW 《Refraction》

見どころ | 入口にある彫刻の形状から「ゲーチョキパービル」と呼ばれる繁華街の7階建ビル「HOWZE」。長らく空きビルでしたが本展で3フロアを特設会場として活用。アートによる賑わい創出の拠点化を目指します。



WOW の展示予定作品



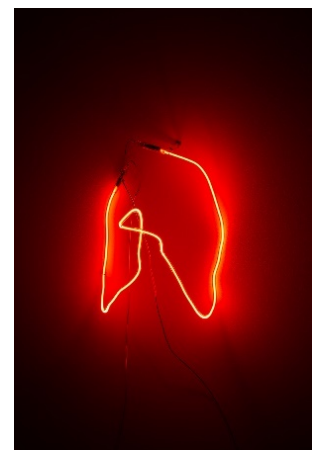
蜷川実花の作品 ©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery



ハシグチリントロウ 《even destruction》



マッド・ドッグ・ジョーンズ
《Dream Castle》



川内理香子 《organ》
撮影：Keita Otsuka ©Rikako Kawauchi
Courtesy of the artist and WAITINGROOM

見どころ | 4組のアーティストが「中央通り商店街」を起点に、アーケード街を活動拠点とする地元クリエイターや、老舗の百貨店とアートプロジェクトを協働。街とアートが互いの可能性を引き出ししていきます。



アンドリュー・ピンクリー 《Stone Cloud》



木原共 《Future Collider》

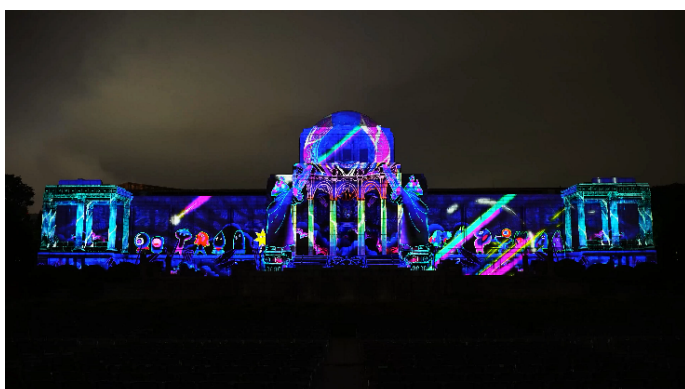


マームとジブシー 《Light house》 撮影：岡本尚文



関口光太郎 《SUN TOWER2020/MAQUETTE》

見どころ | プロジェクションマッピングの第一人者・石多未知行がプロデュースし、国際大会で活躍するアジアのトップ映像クリエイターチームをタイ、インドネシア、マカオから招聘。10/27（金）、10/28（土）、10/29（日）の3日間、群馬県庁昭和庁舎の前面を使った大規模なプロジェクションマッピングイベントを実施します。



《1minute Projection Mapping Competition 2022》

[イベントプログラム]

”この街の未来“をともに考え・ともにつくるプログラムを。

本展では未来の街づくりを担う若者や子どもたちに創造的な学びの機会をひらきます。前橋生まれの演劇作家・藤田貴大が主宰する劇団「マームとジプシー」、欧州で注目される新鋭のメディアアーティスト木原共、ガムテープと新聞紙によるユニークな彫刻活動で知られる関口光太郎らが、前橋の街を舞台に地域の人々との共同制作やワークショップをひらきます。



藤田貴大 撮影：井上佐由紀

01- 藤田貴大「マームとジプシー」演劇公演

前橋市民に愛される老舗百貨店スズランの新館3階が劇場空間に変容。

実施日：10/28（土）、10/29（日）、12/23（土）、12/24（日）

会場：スズラン前橋店 新館3階

02 - 村田峰紀 路上パフォーマンス《Neck Live》

「手も足も出ない」状態で描き出す、渾身の風景スケッチ。

実施日：10/14（土）、11/3（金祝）、11/4（土）、11/5（日）

会場：前橋市中央通り商店街



村田峰紀《Neck Live》

03 - 木原共 AR ワークショップ《Future Collider》

「あり得るかも知れない未来」をARを駆使して問いかける未来授業。

実施日：11/25（土） 会場：前橋市中央通り商店街

04 - 石多未知行 映像ワークショップ《horizontal line》

1本の線から想像力を解き放つプロジェクションマッピング体験教室。

実施日：1/20（土） 会場：アーツ前橋（予定）



関口光太郎《大人魚姫の城》

05 - 関口光太郎 公開制作《辻辻モンスターズ》

街区の交差点「辻」に出現するガムテープの巨人や恐竜と遊ぼう。

実施日：11/11（土）、11/25（土）、12/9（土）、1/13（土）

会場：市内各所（予定）

06 - キュレーターがガイドする「前橋アートトリップ」

本展のキュレーターチームがアートを通して見た前橋の魅力をご案内。

実施日：期間中の隔週日曜 11:00~12:30 会場：まえばしギャラリー、HOWZE ビル、スズラン前橋店、中央通り商店街 他

07 - 白井屋ホテル スペシャルアートツアー（予定）

アートホテルに展示された珠玉の現代アートコレクションを特別公開。

実施日：期間中の隔週火曜 13:30~14:00

会場：白井屋ホテル敷地内



木原共 + Playful 《Deviation Game》 撮影：Aya Kawachi

※上記の会場・実施日は変更になる場合があります。また、この他にもアーティストによるトークや、観賞交流会等を随時企画・実施していきます。更新情報はアーツ前橋のホームページでご確認ください。

[開催概要]

展覧会名 | アーツ前橋 開館 10 周年記念展

ニューホライズン 歴史から未来へ

会期 | 2023 年 10 月 14 日 (土) → 2024 年 2 月 12 日 (月・祝)

会場 | アーツ前橋、白井屋ホテル、まえばしガレリア、HOWZE ビル、スズラン前橋店 他

主催 | New Horizon 展実行委員会、前橋市

助成 | ぐんま芸術文化創造事業、一般社団法人ぐんま食と歴史文化財団

芸術監督 | 南條史生 (実行委員長・アーツ前橋特別館長・前橋市文化芸術戦略顧問)

アーティスト | アンドリュー・ピンクリー、石多未知行/デサイドキット/ザ・フォックス、ザ・フォルクス/ランペイジズ・プロダクション、井田幸昌、岡田菜美、オラファー・エリアソン、川内理香子、木原共、五木田智央、蔡國強、ザドック・ベン=デイヴィッド、ジェームズ・タレル、スプツニ子!、関口光太郎、武田鉄平、蜷川実花、袴田京太郎、ハシグチリントロウ、ビル・ヴィオラ、マッド・ドッグ・ジョーンズ、マームとジブシー、松山智一、村田峰紀、山口歴、横山奈美、403architecture [dajiba]、レフィーク・アナドル、WOW (30 組=海外作家 8 カ国 11 人/国内作家 19 人)

前橋市をアートのおふれる街へ!

ふるさと納税のガバメントクラウドファンディングに挑戦中。

本展開催にあたり、アーツ前橋でははじめて「ふるさとチョイス」のクラウドファンディングに挑戦し、「アートのおふれる街・前橋」を皆様と一緒につくっていきたいと考えています。トップクリエイターの作品を地域の皆さまに届けることはもちろん、前橋以外の都市でも参照できる「アートによる地域再生」の事例にすべく、美術館スタッフ一同、使命感をもって取り組んで参ります。最先端のアートで街を彩るアーツ前橋 開館 10 周年記念展「ニューホライズン 歴史から未来へ」へのあたたかいご支援を、何卒よろしく願いいたします。

●詳細は右記の QR コードよりご覧ください→



開催情報はアーツ前橋ホームページにて随時更新・公開してまいります。

<https://www.artsmaebashi.jp>

●展覧会に関するお問い合わせ New Horizon 展実行委員会事務局 (アーツ前橋)
学芸担当 高橋/庭山
●取材・掲載に関するお問い合わせ TEL:027-230-1144
PR担当 酒井/石井 E-mail: artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

●広報画像はこちらより
ダウンロードください



広報用画像（作品）

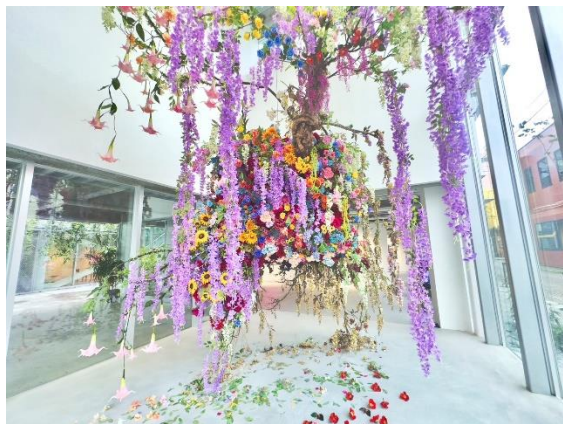
【1】



【2】



【3】



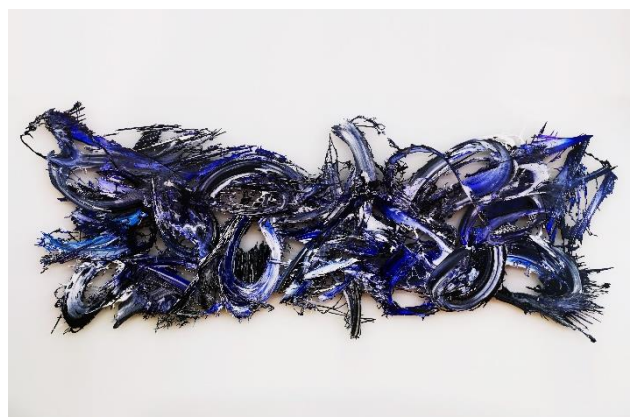
【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



広報用画像申込書（作品）

記事掲載についてのお願い

- ・掲載にあたっては、展覧会名と会期を表記してください。
- ・画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- ・掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
- ・取材及び収録等の際は、必ず事前にお問い合わせください。

アーツ前橋 PR 担当 宛 FAX 027-232-2016

ご希望の画像の番号に○をつけてください。画像を保存するためのIDとPASSをメールにてお送りいたします。

*画像の使用は本展覧会の広報を目的とする場合に限り、個人のブログ等への掲載や鑑賞等を目的とする場合には提供できません。

【1】	レフィーク・アナドル 《Living Paintings Immersive Editions: Artificial Realities: Winds of LA / Pacific Ocean / California Landscapes.》 撮影：Joshua White Courtesy of Jeffrey Deitch, New York and Los Angeles.
【2】	アンドリュー・ピンクリー 《Stone Cloud》
【3】	蜷川実花 《残照/Eternity in a Moment》 ©mika ninagawa
【4】	ザドック・ベン＝デイヴィッド 《People I Saw But Never Met》
【5】	WOW の展示予定作品
【6】	山口歴 《MÖBIUS NO. 17》 撮影：© 2021 浦野航気 © 2021 MEGURU YAMAGUCHI, GOLD WOOD ART WORKS
【7】	マームとジプシー 《Light house》 撮影：岡本尚文
【8】	武田鉄平 《絵画のための絵画 044》

媒体情報 *できるだけ詳しくご記入ください。

媒体名：	
発行日：	発行元：
貴社名：	
部署名：	担当名：
所在地： 〒	
TEL：	FAX：
E-MAIL：	

- 展覧会に関するお問い合わせ New Horizon 展（事務局・アーツ前橋）
学芸担当 高橋/庭山
- 取材・掲載に関するお問い合わせ TEL:027-230-1144
PR担当 酒井/石井 E-mail: artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

- 広報画像はこちらよりダウンロードください
<https://www.artsmaebashi.jp/?cat=28>



広報用画像（アーティスト）

【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



広報用画像（アーティスト）

記事掲載についてのお願い

- ・掲載にあたっては、展覧会名と会期を表記してください。
- ・画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- ・掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますのでアート前橋までご送付ください。
- ・取材及び収録等の際は、必ず事前にお問い合わせください。

アート前橋 PR担当 宛 FAX 027-232-2016

ご希望の画像の番号に○をつけてください。画像を保存するためのIDとPASSをメールにてお送りいたします。

*画像の使用は本展覧会の広報を目的とする場合に限り、個人のブログ等への掲載や鑑賞等を目的とする場合には提供できません。

キャプション・クレジット等	
【1】	レフィーク・アナドル/Refik ANADOL
【2】	井田幸昌/IDA Yukimasa 撮影:@ogata_photo
【3】	川内理香子/KAWAUCHI Rikako 撮影:野村佐紀子
【4】	ザドック・ベン=デイヴィッド/Zadok BEN-DAVID 撮影:Celine Avrahami
【5】	蛭川実花/NINAGAWA Mika
【6】	山口歴/YAMAGUCHI Meguru ©ANDREW ACACIO, MEGURU YAMAGUCHI, GOLD WOOD ART WORKS
【7】	藤田貴大/FUJITA Takahiro 撮影:井上佐由紀
【8】	ハシグチリントロウ/HASHIGUCHI Lintalow 撮影:永田峻
【9】	スプツニ子!/Sputniko!

媒体情報 *できるだけ詳しくご記入ください。

媒体名:	
発行日:	発行元:
貴社名:	
部署名:	担当名:
所在地: 〒	
TEL:	FAX:
E-MAIL:	

- 展覧会に関するお問い合わせ New Horizon 展（事務局・アート前橋）
学芸担当 高橋/庭山
- 取材・掲載に関するお問い合わせ TEL:027-230-1144
PR担当 酒井/石井 E-mail: artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

- 広報画像はこちらよりダウンロードください
<https://www.artsmaebashi.jp/?cat=28>

